

V 自由意見

問 18. 男女共同参画についてご意見がありましたら自由にご記入ください。

- 男女共同参画も必要ですが、男女の特色を生かした社会の形成ができればよいと思います。 (女性・70歳以上)
- 現在変化しつつあるが、男女の体力の差もあり男女の職域、職業選択が長年続き慣習となっている。仕事、社会的役職等へ男女の枠を越えての人が多くなれば男女差別ではなく能力主義、共同参画につながるのではないか。 (男性・50歳代)
- 男女共同参画に賛成ですが、男女の役割等、いまだに男は仕事・女は家事の考えはなかなか平等にはならないように感じます。 (女性・30歳代)
- 民間には比較的以前より意識が高まっていると思う。 (男性・30歳代)
- 男性が育児休業を1年とれるよう企業は推進してほしい。夫婦が1年ずつ交代でとれたら子どもも幸せだし父親も子どもに対し妻任せにするのではなく、責任感、愛情、もっと親密な関係が生涯続くと思う。 (女性・40歳代)
- 日常生活面や職場内でも男女平等にはなっていますが、40～50代頃の成人については平等という言葉は聞かれませんが、どうしても人任せになります。特に現職場の地位を気にしてしまいます。むしろ若者のほうが平等について家事等区別、分担し、お互いの思いやりがあると思います。職場でも平等もいいと思いますが、やはり男女ともにできる仕事、男でなければ、女でなければと協力し合い一つの職務になると思います。平等も大切です。今はだいぶ職場でも色々と優遇されてきていますので、仕事をしていてもとても楽になりました。平等に気をつけ要求するとチームワークが乱れてしまうことがあります。 (女性・50歳代)
- 「男女共同参画」など、いかにも役人が役人のために取り上げそうなテーマですね。老若男女まじり合って社会が成り立つでしょう。こんなことに税金を使わないでください。 (男性・70歳以上)
- 日本固有のすばらしい文化の継承。欧米化反対。 (男性・50歳代)

- 男女心の通いが必要である。 (男性・50歳代)

- 男だから女だからというよりは、個人の能力を正當に評価するという社会通念の浸透が先→教育。自然人として男女の差はないと考えるが社会人として男と女の違いはある。適性の違いということ。適性の違いを抜きにして一律に男女平等で男女同数というやり方は駄目ですよ。 (男性・60歳代)

- 育児や介護に男性は積極的に参加していませんね(口だけ)。結局、奥さんが一人背負ってしまいます。50~60才代の男性はそういう教育で育ったんでしょうね。 (女性・50歳代)

- 1. 日本の文化、伝統、皇室行事、祖先についてもっと啓発すべきである。
 - 1. 日教組、自治労は廃止すべき。
 - 1. 堂本知事のやり方は日本をメルトダウンさせる。やめるべき。
 - 1. 行政はあくまで行事役であって自らこの問題に係わるべきではない。
 - 1. 日本の歴史、世界の歴史を必修にすべき。
 - 1. 英語や音楽より世の中で生きていくのに必要な税金、納税、社保、年金等を早くから教え、学ぶのがよい。 (男性・50歳代)

- 男女共同参画そのものの資料もなくよくわからない。 (女性・70歳以上)

- 市当局があらためて男女共同参画を企画し推進しなければならないほど匝瑳市を含め今の社会は女性を区別したり虐げたりしていないと思う。敢えて市が計画し全住民運動的に推進しようとするなら他に多々あると思えてならない。 (男性・70歳以上)

- 男女共同参画の目的と焦点が今一不明確。 (男性・50歳代)

- 男女それぞれ特徴を生かして協力しあい、あたたかい平和な楽しいよい家庭または職場をつくっていくことが大切と思う。そういう素晴らしい家庭、職場がつけられるような最低の法的なものは整備されなくてはならないと思う。男も女も特徴を生かせるよう子育ての時期、健康を害した時、いろいろな意味で困った時など救われるよう法的にも整備されたら幸せこの上ない家庭、社会ができると思われる。 (男性・70歳以上)

- 実現するとは思えない。 (女性・30歳代)

○ 子育ては大事な仕事です。子ども中心にした生活ができる環境であれば男女共同参画もよいと思う。しかし、子育ての問題を抜きにしてはこの問題はとりあげられない。少子化…などの問題もあり、難しいところである。愛情は何よりも子が育つ上で重要である。男女の役割を踏まえた上で進めていければと思う。働く女性が増えても管理職が男性ばかりでは女性を理解したうえでの職場にはなりません。女性の一生の役割は子育てをし社会に送り出すこと。もちろん男性の協力は必要です。

(女性・50歳代)

○ 学校での教育。会社、特に経営者や管理職の教育の徹底。法律の規制強化、罰則の強化(曖昧にしない)。憲法で男女平等を掲げているが60年経過した今でも男女差別が厳然とあるのはなぜと問いたい。政治家、国民の怠慢です。

(男性・60歳代)

○ (父のことです) 私は海辺の自然の中で健康に老を楽しんでおります。今、野の花、稲穂の波、そして季節の土用波、その昔この波が何より好きだった父親を思い出しながら。うぶすな様、お不動様、部落の龍神様に守られて父は何よりうその嫌いなじいさんでした。(女は子を産む) 広い心で強い子と、草原から神社のある場所へ引っ越しで育ててくれました。

(女性・70歳以上)

○ 男女共同参画への取り組みが遅いと思います。

(女性・20歳代)

○ 男女共同参画についてあまり知識がない。つまり広報不足なのでは。男女平等という考えについては賛成できるが、差別でなく区別という意味で。男女 or 女性に向けた役割というものがあると思う。すべてのことで男性女性が50:50はありえない。

(男性・20歳代)

○ 突然のこのようなアンケートが届き困惑しています。

匝瑳市は年輩の世代が多いので女性が軽視される傾向があります。かといって女性が率先してこのような取組をしたいと思わない節もあります。そのような風潮を打破することが大切であり理解を促すことが始めに必要です。

子どもを育てている女性こそ、未来を担う子どもを教育している人こそ参加すべきなのに(未来を変えていくという意味で)。彼女らに社会参加の時間を与えられないのは行政の怠慢ではないでしょうか。

(女性・30歳代)

○ 既に男女平等の社会のように思える。女性のみ優遇しすぎないようお願いしたい。

(男性・50歳代)

- ・体力以外では男女の差は特に無いと思うので男女共同参画でも問題無いと思います。
- ・男女だけでなく、いろいろな立場、状況に置かれている人たちの声を広く聞いてもらいたい。
- ・育児休業を取りたくてもその間の収入が妻の収入だけでは生活していけないので取りたくても取れないのが現状だと思う。
- ・市町村の議会議員選挙等では、女性の立候補者がほとんどいないのもっと増えたほうがよいのでは？
- ・今は少子化で子どもが少なくなっているのもっと子どもを産み育てやすい環境（経済面等）の政策を進めていく上では女性のほうが家計や育児環境をよく知っているので向いていると思う。 （男性・20歳代）
- 男女共同参画は、政策上重要視されて国や県の啓発活動も行われているが、実績としてはいまいちであるように思う。
- 本市において、どのような男女共同参画の取り組みがあるのかまったく伝わってこない。
- 「ジェンダーフリー」のスローガンも今は不適切とのことで県は使用していない。
- 「ジェンダーバイアスフリー」として再度検討する必要があると思う。
- 職業への男女共同参画にしてもまだまだ十分ではない。本アンケートを実施している匝瑳市役所の企画課の男女比はどうか？課長の性別は？まず、市が自ら範を示す覚悟があるのか自問していただきたい。お題目に終わらせぬためにも。
- （男性・50歳代）
- 男の能力、女の能力はどんなにがんばっても男に出産が無理なようにそれぞれの限界があると思う。それぞれがその能力を一生懸命にやったらよいと思う。男女平等といくらいってもやはり平等にはならないと思う。 （女性・40歳代）
- 男女というより互いの立場を理解しようと努めればそんなに大きな問題はないと思います。何事も相手を尊重しコミュニケーションをはかっているだけでクリアできることが多いと考えます。原点に戻り一つ一つ話し合っていく姿勢が大切だと思います。人は人の中で育ち、人は人の中で輝くものです。面倒がらず人と関わっていききたいものです。 （女性・30歳代）
- 私の職業のためかアンケートを読んでもピンとくることが少なく、賛成する・しない、どちらもうなずけることがある。“これは男性のほうが”、“これは女性のほうが”と思うことがあります。まだ、よくわからない状態です。 （女性・50歳代）

- 男と女、生殖が異なる。人間として平等に見る。
仕事といえば収入だけではない。家事専業は収入の範囲で家族の健康のため食事、子ども成育、年寄の介護、家族の一員としてその時、その時代を工夫しながら。生活を楽しんで。家族全員で生活すること。自由という言葉で自分中心！！
生活パターンはそれぞれに異なってもよいと思う。それぞれの家庭で家族が健康で仲良く思いやりの心を大切に。
現在があるのは御先祖様、そして家族のお陰だと感謝々々。家庭、社会、世界の平和を祈る。
このアンケートは私には？皆それぞれに工夫して。
都合の悪いことは逃げないで考え方を変えて家族で努力しましょう。役所の方は悩んでいる人の力になってください。 (女性・70歳以上)
- まず、今回の『男女共同参画』というものが不明瞭で何をしたいのかわからない。しかし、最近のマスコミ等の報道を見る限りだと、「男らしさ」や「女らしさ」というものが一種のタブーのように感じられる。もともと男と女は体のつくりや考え方が違っているため、その特性に合わせた役割が必要だと思います。 (男性・20歳代)
- 男女平等社会となり女性の社会進出が進み経済的余裕ができるとともに生活が派手に。結婚しても出産せず私生活組の派手さだけが目立っている。 (男性・50歳代)
- 男らしく女らしくあるべきの定義、意味がわかりません。 (男性・60歳代)
- 男女共同参画と言われても何をしたいのかよく意味がわかりません。だれでもわかるようにこのアンケートを通じて文章なり市民のみんながわかるようにお願いします。 (女性・40歳代)
- こちらのアンケート自体、女性の地位を低く見ている解答に非常に困る。女性に失礼である。この男女共同参画の意図がまったくみえてこないアンケートであります。市民病院をなくさないようにしていただきたいと思う。 (男性・70歳以上)
- いろんな面において昔よりはかなり男女差はある意味少なくなってきたように思われます。しかしまだまだ男社会と思う場合も少なからずあるのも事実です。個々人を尊重しあうところから変わっていかないとむずかしいと思います。 (女性・50歳代)

○ 私は看護師をしています。病院により育児休暇が取れない所が多く、皆、育児に困っています。

病院だけでなく一般企業においても同等です。今後、この点について改善していただきたいと思います。
(女性・30歳代)

○ 全く男性と仕事が同じくできればよいが、扶養の範囲で働ければよいと金額で損得を言って能力を出していない女性が多いので法律的にそういった差をなくせば働く女性も増え共同参画らしくなると思う。

基本的に配偶者控除を無くしてから男女共同参画社会と言ってほしい。

(男性・20歳代)

○ 家事、育児、介護など、まだまだ女性が家庭の中のことはやるべきという意識が年齢が高い人ほど強い気がします。子どもが生まれて小学校に入るまでは父親も早く家に帰り、育児を手伝えるようにしたり、税金の免除、保育料も安くなればもっと子どもを生む人も増えると思います。

また、夜間の救急の病院（市民病院）の小児科も毎日診察してほしい。

(女性・30歳代)